

*** ** * * * **きずな** * * * **きずな** * * * **きずな** * * * * *

出来ればあの日を忘れ去ってしまいたい。あの日が夢・幻であったら・・・と思いつつ、つらく悲しい3月11日が巡ってきます。私がたまたま支援の縁を結んでいる宮城県・南三陸町からも復興計画書や計画図が送られてきました。大津波で呑みこまれた町を、高台へ移し新しい町を再生するのは気の遠くなるような“業”です。集合住宅は黄色、公共施設はオレンジとカラフルに彩られてはいますが、まだまだ何処に何をどう建てるか、大部分は未知数のまま。33人もの津波孤児はすべて親類に引き取られて元気していると、何回もライオンズクラブから支援に出向いている知人は、地縁・血縁の**きずな**に結ばれた東北社会の強味を語ってくれました。とはいえその子らは理屈抜きの親のぬくもりを切望しているはず。それに代わる**きずな**が結ばれ、東北の町々が復興していくのを長い目で見守りたいものです（代表：諏訪きぬ）。

もう春はそこまで・・・。入園に向けてQ&A

月日のたつのは早いものですね。風の冷たさの中でも木々のつぼみは確実にふくらんでもう春がそこまで来ていることを知らせてくれています。

“元気に飛び立て プレイス卒業！！”そして、入園・入所の時が近づいて来ました。今年もまた、幼稚園に、保育園にと子ども達はプレイス奥富から飛び立って行きます。大きくなりましたね・・・。このプレイス奥富が出来て昨年の10月で4年目に入りました。あの頃、お母さんのおなかの中にいるうちから、首のすわらない赤ちゃんだった頃から、何年かのプレイス通いを経て、次のステップへと飛び立って行きます。

“入園に向けてQ&A”では、入園迄にしておきたいこと、やっておくと便利なこと（衣服の着脱の仕方など）や入園に向けての心構えなどを話し合いました。その後、入園予定の幼稚園ごとに顔合わせ。“アラーっよろしくお願ひいたします。”“こちらこそ”と、話し合いが終わったあとなごやかな空気がふっと流れ出しました。



お子さんだけでなく、お母さんたちも緊張しているんだなア！？もっともっと力になれば・・・と思った目でした。



“好評 保育付き講座” その日、“保育付き”での講座（親は別室で講座）にしました。これで2回目、お母さんと



と離れるための練習も兼ねて。子ども達はしっかり承知していました。子ども達はのびのび遊んで、スタッフとお母さんが戻ってくるのを待っていました！入園、もう大丈夫ですね！！



坂本奥富小学校長先生に伺いました。就学前にどうしたら？

入園を間近に控えた2月9日、お隣の奥富小学校から坂本校長先生をお迎えして、日頃の子育てで心がけたいこと、就学の時期までを見通して子どもに育てておきたい力



などをじっくり伺いました。何枚ものレジュメを用意してくださり、ご自分の子育てや学校現場で垣間見る子どもの姿を交えながら、分かりやすく丁寧にお話し下さいました。

この日も保育付き。お母さん達はお子さんと離れて、じっくりお話しを伺う事が出来ました。

その真剣な表情からこのような機会をもっと取り入れたいと思いました。子育てで大切なことは、基本的な当り前の力を育てておくこと。 ***自分で身のことが出来る！ *あいさつなど人とコミュニケーションが取れる！ *自分をコントロールする力がある！ *よいセルフイメージをもつ などなど。**



うちの子の入学までいて下さい

読書スペースで落ち着いて本をひらいたら・・・

本棚は今迄もあったのですが、ともすれば遊び場になっていました。本がおもちゃになっていたのです。様子を見ていたのですが“本に親しむ”という体験をこのプレイスでも大切にしたいと考えました。

“お母さんのおひざ”の上で読んでもらった本の想い出もいいし、机の上に広げた本を囲んでみるのもいいのでは・・・。そう思って、“気持ちのいい読書スペース”を作ってみました。もちろん、机もあります。机の上に大好きな絵本を広げて、お友達と一緒に見る・・・。そんな体験もたくさん出来たらいいですね。 **ここがお母さん達の読み聞かせの場にもなれば・・・と。**

